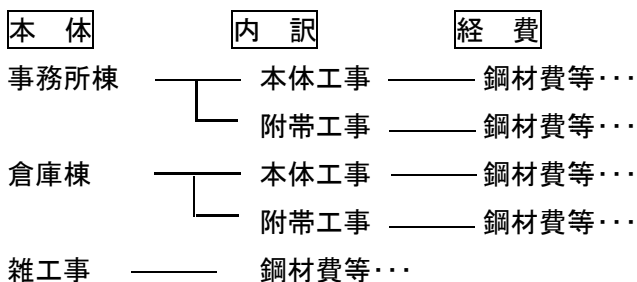


内訳を使用する場合と設定方法

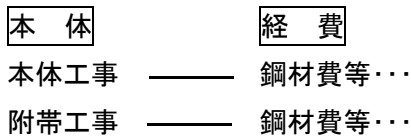
操作方法

見積書が本体区分の下層に直接経費を入力して、本体区分として集計を出力する場合には内訳区分の設定は不要ですが、本体区分の下層にさらに区分分けをして、その区分毎に経費を計上する場合は内訳区分の設定が必要になります。

○見積書が以下のような区分分けの場合は、内訳を使用します。



○見積書が以下のような区分分けの場合は、内訳を使用する必要がありません。



内訳を使用するには、パラメーターや工事別マスタで設定をする必要があります。

- 1) 工事別パラメーターの [見積] タブ<内訳を使用する>のチェックを入れて<OK>をクリックします。
- 2) 工事別マスター<内訳区分>をクリックして開き、本体区分の下層にそれぞれコードを入力し、内訳区分を設定します。

